

会 議 録

1 会議名	平成20年度第5回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成20年11月4日(火) 午後2時00分～4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊，手塚敏子，沼田良，古橋悟一，青木定夫，江連功，小嶋耕一，斎藤功，斎藤和之，佐藤きよ子，塩井洋子，柴田征男，手塚光彦，古橋正好，松田仁一，和田春海，大木清茂，小野三朗，北見幸夫，佐藤和男</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長，地域経営課長，地域経営課主幹，地域づくり課長，保健福祉課長，産業土木課長，地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】読売新聞社(1名)</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議事項 まちづくりに関する施策の提案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

議 事	
3 協議事項	まちづくりに関する施策の提案について
会 長	<p>・次第3の協議事項「まちづくりに関する施策の提案について」を議題とする。</p> <p>事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>・資料の説明に入る前に，協議の概要を説明する。</p> <p>まちづくりの提案に向けて，自治会議では3つのグループが，それぞれ1つの柱をテーマとして検討を進めている。現在の考え方を8月から開催されているまちづくり勉強会で提案し，意見を参考にしていきたいと思う。そのため本日は，まちづくりの提案に向けたス</p>

スケジュールや、実施方法などについて協議していきたいと考えている。

「まちづくり提案に向けたスケジュール」について説明する。

- ・ 11月17日（グループ全体会議）
まちづくり勉強会に向けた提案資料の確定
- ・ 12月上旬（まちづくり勉強会）
- ・ 12月中旬（第6回自治会議）
まちづくり勉強会での意見を踏まえた提案内容の修正等
地域住民からの意見募集の実施方法を検討
- ・ 2月中旬から下旬（第7回自治会議）
地域から寄せられた意見を踏まえた提案内容の修正
まちづくりの提案確定
- ・ 3月（第8回自治会議）
自治会議の2年間の評価と今後の会議運営の意見交換

「まちづくり勉強会における提案」について説明する。

- ・ これからの上河内のまちづくりを進めるため、今年の8月から月1回のペースで地域の現状などをテーマとして、現在まで3回の勉強会が開催されている。4回目の勉強会では、自治会議で考えているまちづくりの3本の柱と7つの施策などについて提案し、意見交換を実施していこうと考えている。
- ・ 実施方法については、パワーポイントで作成した資料により、全体部分を事務局が、3本の柱は各グループの代表者がそれぞれに発表する。
- ・ まちづくり勉強会の形式は、参加者が4つのグループに分かれて意見交換をしているため、自治会議の各グループも4つに分かれて、それぞれのグループで個別に意見交換を行い、最後に全体の中で意見交換の結果を発表する。
- ・ 意見交換結果の活用については、勉強会開催後にグループ会議を行い、意見交換を受けての今後の対応についてグループごとに話し合う。

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の説明について、各委員から意見を求める。 (意見・質問なし) ・まちづくり勉強会に提出する資料の説明について、事務局より願いたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料（提案の概要）について説明する。 「自然と人が共生し、安心して暮らせる活力あふれる地域」を目標像して、現在3本の柱と7つの施策を考えている。 柱1「地域の人たちが、出会い語り合い、ふれあう場があるまち」 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域内外の人の交流を推進する 2) 地域活動を育む環境をつくる 3) 高齢者の生きがいを進める 柱2「地域資源を活かし、にぎわいがあり、楽しく暮らせるまち」 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域の名所・旧跡・景観などを活かしたまちづくりを進める 柱3「地域が安全で、安心して暮らせるまち」 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域内交通を強化する 2) 地域住民の健康づくりを推進する 3) 防犯・防災対策を充実させる <p>当日は、資料を画面に投影して説明を行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料（魅力あるまちづくりに向けて）について説明する。 「上河内自治会議からの提案」 まちづくりアンケート調査結果 上河内地域の好きなおところや自慢できることは？ 上河内地域の住み心地は？ 住みたい地域のイメージは？ 地域に必要な取り組みは？ 「上河内地域のめざす姿」 自然と人が共生し、安心して暮らせる活力あふれる地域 「めざす姿に向けた施策・取り組み」 ・各施策の詳しい説明は、グループ長にお願いする。

委員

・「起草グループ」では「地域の人たちが出会い語り合い、ふれあう場があるまち」を実現することで、活力あふれる上河内地域になっていくとの思いから、話し合いをしている。

1. 「地域内外の人の交流を推進する」

地域内はもちろん、地域の外も含めた交流の輪を広げるため、多くの人気が気軽に地域を訪れ、行事に参加できる雰囲気づくりが必要である。

2. 「地域活動を育む環境をつくる」

地域活動は、魅力あるまちづくりに向けた原動力として大切であり、活動がしやすい、気軽に参加できる環境づくりが必要である。

3. 「高齢者の生きがいづくりを進める」

少子高齢化社会が進む中、高齢者が生きがいと誇りを持って暮らしていくために、地域で活躍する場を増やしていく必要がある。

委員

・「調査グループ」では「地域資源を活かし、にぎわいがあり、楽しく暮らせるまち」ということをテーマに検討を開始した。

1. 「地域の名所・旧跡・景観などを活かしたまちづくりを進める」

上河内地域の誇れる地域資源を有効に使うことで多くの誘客を図り、人と人の交流やにぎわいの場を増やし、活力ある地域づくりに取り組む必要がある。

委員

・「広報グループ」では「地域が安全で、安心して暮らせるまち」の実現に向けて、必要なことは何なのか、地域としてどんな取り組みが必要なのかの検討を進め3つの施策を打ち出した。

1. 「地域内交通を強化する」

地域内の交通は、地域の生活（まちづくり）に欠かせないものであり、円滑で利便性の高い地域内交通のあり方を地域全体で考える必要がある。

2. 「地域住民の健康づくりを推進する」

子どもから高齢者までが地域で健康に暮らすことは地域全体の望みであり、地域として健康づくりを積極的に推進する必要がある。

	<p>3. 「防犯・防災対策を充実させる」</p> <p>地域の安全は地域全体の願いであり、災害や犯罪を身近に捉え、地域で地域を見守る体制づくりと各組織の役割分担を明確にする必要がある。</p>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の説明について、各委員から意見を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・私が住んでいる芦沼に、旧町の文化財になっていた三本杉がある。この地域で一番大きいと思うので、調査グループの調査施設箇所に入れてほしい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・世界一小さいハッコウトンボが生息しているところも追加してほしい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのようなものが探さないと見つからないことや、限られた時間の中で調査した33ヶ所であり、これから今のような話をたくさん盛り込んでいければと思う。そして「上河内にはこんなすばらしい自然があるんだ」ということを、地域内外へ発信していければと思う。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島でまちづくりをやっているグループは、「世界遺産は自分たちの生活にはあまり関係ないので、個人遺産をつくっている」という話を聞いた。自分がいいと思ったところを写真に取ってホームページにアップしている。その結果、100近くの個人遺産があるらしい。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の記載に「会議は地域の団体推薦などによる」とあるが、公募というイメージがない。これからは公募が主となるので、表記を「会議は地域の団体推薦及び公募などによる」としてほしい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議に提案する内容については賛成だが、まちづくり勉強会への提案ということなので、勉強会と自治会議の関係がわからない。自治会議の考えについて、パブリックコメント的な意見を言えばいいのか、それともどういう組織をつくるべきなのかについて意見を

言えればいいのか、何を勉強しに来たのかわからない。提案するのはわかるが自治会議の委員は何なのか、お金はどうするのか、はっきりしないで勉強会へ出すと混乱が起きる。「まちづくりの組織をつくらなければ、そこに補助金は出しませんよ」という理解で集まってくる人たちもいる。私の言っていることが間違っていれば修正しなければならないのでお聞かせ願いたい。

会 長

・このことについて、各委員に意見を求める。

委 員

・勉強会と自治会議で考えたことは別なものであると思う。本来は私たちだけで出したいと思うが、より良いものにするために「みなさんからいろんな意見をください」というものだと思う。市長に出すからといって市長がやってくれるものではない。実際は私たち地域住民がやるものだから、来年立ち上がるであろうまちづくり組織が自治会議の提言を受けて、「これならばやれそうだ」というものを一つでも二つでも取り上げてやっていくものだと思う。お金とか誰がやるのとかは今の段階ではまだどうするものではなく、その提言を見てから考えるべきものである。

委 員

・まちづくり勉強会に出す意味として、自治会議の委員は「こういう感じで提案書をまとめた」ということでいいと思う。ある程度こうして出していかないと、考え方も見えてこないと思う。組織やお金は後の問題で、テーマ的な提案をして差し支えないと思う。

委 員

・まちづくり勉強会が組織をつくるという仮にハード面、どういう地域にしていくかをソフト面とすると、勉強会に出てくる人がハード面のための勉強会なのか、ソフト面のための勉強会なのか、性格的に十分整理されていない。やがて財政負担はそれぞれ住民の人にお願ひしてやっていく訳であるから、そういうことを頭に置いて出て来る人もいる。そんな人に提案のようなソフト面を見せても意味がない。まちづくり勉強会の一部を借りて提案するならばいいと思うが、「こういうまちを一緒につくりましょう」というソフト面だけの考えであれば、私が逆の立場なら不満である。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり勉強会への提案という表現の仕方も良くなかったが、まちづくり勉強会の一部の時間を借り、われわれの提案をしていく過程において、「みなさんの意見を聞かせてください」というのがこの勉強会での位置付けになる。自治会議とは、あくまで地域住民を代表して行政に対し意見を述べるもので、これから良いまちづくりをするために勉強していくのがまちづくり勉強会であり、まったく別なものになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も疑問に思いながらまちづくり勉強会に参加している。まちづくり組織の中に自治会議のメンバーが何人か入って一緒に話し合っていくのか、今の段階でどのように考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今の段階というよりもともと性格の違うものであり、自治会議はあくまで行政の附属機関であり、行政に対して提言するというのが目的である。まちづくり組織は実際に地域で言っていることを自分たちがやっていくという活動組織であるから、まちづくり組織に自治会議の委員が入る入らないではなく、地域の一員として組織に入るという考え方だと思う。それぞれの役割を理解していればよいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2回ほど勉強会に参加したが、まちづくりをこれから続けていく人たちが、どういうふうにしていくか勉強するところなので、これを提案するにあたっては、まちづくりの提言は住民に対する提言でいいと思う。自治会議は自己負担ではなく議会的な立場であるということから、あくまでこれをどうするのではなく「こんな考えがまとまりました」という、まちづくりのためにやってきた提案として、一度みなさんに発表していくかたちでいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会のグループ分けにはどんな意味があるのか。しっかり勉強会の方向性を見せていかないと人が来なくなる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をするときに、例えば30人いて30人が全員で意見交換を始めても、意見を言う人は限られてしまうので、グループに分けてやってきた訳である。今回は自治会議の提案について意見をもらうかたちである。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・早くまちづくり検討委員会なる組織を立ち上げていかないと、ただの勉強会で終わってしまう。意見交換をして情報の交換をするのも大切だが、理論だけでは先へは進まない。具体的に地域のイベントなどを実施するために、予算化もしていかなければならない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについては、「来年度の中旬頃に組織を立ち上げたい」という考え方があるが、まちづくり勉強会では回を重ねるにつれてどういうものをやるか検討していく。今回まちづくりを進めるにあたって、自治会議がまとめている考え方を知っていただくことも大切だと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が行う勉強会というのは何かの準備会であり、逆に言うと勉強会は性格が明解でないのは当たり前である。私たち自治会議は提案が主体なので責任も権利も私たちが持っている。勉強会の意見は自治会議で合意できないものは採用しない。だから「参考意見を伺いたい」でいいと思う。それと自治会議は正確には10年、まちづくり組織は立ち上がれば地域にずっとあるもので、どちらが上か下かではなく、私たち自治会議は土台をつくって終わるという考え方である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり勉強会は、組織をつくるための勉強会という考え方でよろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のことも考えているが、まずどう活動していくのかを把握していくことが大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのことを今度の勉強会で、みなさんに説明してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちは結論を急ぐ傾向があり、「今こういう経過でこういうことをしている」ということを、はっきりと説明してあげる必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員から意見・質問を求める。 (意見・質問なし)

	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会での提案発表は、参考意見を伺うかたちでよろしいか。 (異議なし)
4 その他	
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他について、事務局より説明願いたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり勉強会はいつ予定されているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり勉強会は、12月2日(火)に予定されている。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員から意見を求める。 (意見・質問なし) <ul style="list-style-type: none"> ・以上を持って、「平成20年度第5回宇都宮市上河内自治会議」を終了する。